

こどもの自殺対策緊急強化プランの取組状況及びロードマップ（令和7年9月更新）のポイント

- 令和5年6月に取りまとめた「こどもの自殺対策緊急強化プラン」に基づく各施策の目標や進捗を見える化したロードマップを令和6年8月に作成（令和7年9月に更新）。
- 各省庁が取り組んでいる施策の全体像を把握した上で、いつまでに何をやる必要があるのかを明確にし、今後の道筋等を見える化することで、引き続きこどもの自殺対策を政府一丸となって推進していく。

取り組むべき施策

要因分析

警察や消防、学校や教育委員会、地方自治体等が保有する自殺に関する統計及びその関連資料を集約し、多角的な分析を行うための調査研究を立ち上げ、EBPMの視点も踏まえ、こどもの自殺の実態解明に取り組むとともに、分析に当たっての課題把握に取り組む（こども家庭庁等）

リスクの早期発見

1人1台端末の活用等により、自殺リスクの把握や適切な支援につなげるため、有償・無償で利用できるシステムやその活用方法、マニュアル等を整理・作成し、全国の教育委員会等に周知し、全国の学校での実施を目指すとともに、科学的根拠に基づいた対応や支援を可能とするための調査研究を実施し成果を普及する（文部科学省）

的確な対応

多職種の専門家で構成される「若者の自殺危機対応チーム」を都道府県等に設置し、自殺未遂歴や自傷行為の経験等がある若者など市町村等では対応が困難な場合に、助言等を行うモデル事業の拡充を図るとともに、より効果的な取組となるよう、運営に関するガイドラインの策定も含め、実施自治体に対し、指定調査研究等法人が必要な支援を行う。その上で、「若者の自殺危機対応チーム」の全国への設置を目指す（厚生労働省、こども家庭庁）

	R6	R7	R8	R9	R10	R11
調査研究の実施	【令和6年度 予算額： 0.2億円】			【令和7年度 予算額： 0.2億円】		
	【令和8年度 概算要求： 0.2億円】			研究結果を踏まえた 更なる研究の企画・実施		
1人1台端末等を活用した 「心の健康観察」の導入推進を図る	【令和5年度 補正予算額： 10億円】		学校のICT環境整備3か年計画（2025～2027年度）における、1人1台端末を活用した児童生徒の学校生活を支援するツール（例：児童生徒の心や体調の変化を早期に発見し、支援するツール）の整備に必要な経費を踏まえて地方財政措置			
			1人1台端末等を活用した 「心の健康観察」の導入推進 を図る			
こども・若者の自殺危機対応チームによる支援者支援						こども・若者の自殺危機対応チーム による支援を推進
こども・若者の自殺危機対応チームの実施自治体増加に向けた方策を検討	【令和6年度 予算額： 30.5億円の内数】 【令和5年度 補正予算額： 20.7億円の内数】		【令和7年度 予算額： 32.1億円の内数】 【令和6年度 補正予算額： 20.3億円の内数】		【令和8年度 概算要求： 46.8億円の内数】	

※未確定の事項を含む矢印は、点線で表している
※詳細は資料2-2参照